

注文書

貴店様名 (取次番線・書店コード)

日付： 年 月 日
担当者様：

アレクサンダー・ハバーシャム著
山本秀峰編訳

マイ・ラスト・クルーズ

1855年アメリカ海軍北太平洋測量艦隊
日本航海・琉球・下田・箱館・蝦夷地滞在記

ISBN 978-4-904059-60-9 C1026

本体 5,500 円 + 税

冊

ご注文はJRCへ

(人文・社会科学書流通センター)

Fax : 03-3294-2177

電話 : 03-5283-2230

〒101-0061 東京都千代田区神田神保町 1-34

発行 露蘭堂

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-25-10-807

(Tel & Fax : 03-6915-2057)

発売元

(株) ナウカ出版 営業部

〒354-0024

埼玉県富士見市鶴瀬東 1-5-13 2-102

(Tel & Fax : 049-293-5565)

新刊案内 2023年11月10日発行

アレクサンダー・ハバーシャム著 山本秀峰編訳

マイ・ラスト・クルーズ

1855年アメリカ海軍北太平洋測量艦隊
日本航海・琉球・下田・箱館・蝦夷地滞在記

ペリー条約(日米和親条約)締結一年後 アメリカ海軍士官が観た日本および日本人

米兵に脅える琉球 開港場下田・箱館 交易の実態 アメリカパイオニア商人
ディアナ号ロシア兵の帰還 日本人の蝦夷地支配・アイヌ民族の姿

目次(内容)

第1章 琉球

慶良間諸島について — 琉球人に関する言葉 — 居住する二人の宣教師

第2章 日本上陸

多数のアメリカ商人と一人のロシア人将兵を訪問 — マホメットと山・意見の相違

第3・4章 下田滞在

日本における売買・バザール — 日本人はペリー条約を利用してだまし取る
浴場と入浴 — 沿岸測量に反対する日本人・反対を克服する

第5章 箱館滞在

日本では真鍮ボタンが貴重品 — 海神の寺を訪問 — ドイツ人探検家

第6章 松前・泊

大都市松前の眼前を通る — アイヌまたは毛深いクリール人

原著

My Last Cruise; or Where We Went and What We Saw; being an account of Visits to the Malay
And Loo-Choo Islands, The Coasts of China, Formosa, Japan, Kamtschatka, Siberia, and the
Mouth of the Amour River. Philadelphia, 1857.

口絵 + 挿絵 14点 A5判 189頁 上製本

ISBN 978-4-904059-60-9 C1026

本体 ¥5,500 + 税

露蘭堂

本邦初訳



(下田) 日本入浴の風景



時計に驚嘆する日本女性



アイヌ・クリール人
(蝦夷地)



アメリカ人の接近に脅える人々
(琉球)

口絵および本文中図版より

露蘭堂の出版物 (既刊・発売中)

		
<p>ラザフォード・オールコック</p> <p>日本および日本人</p> <p>A5判 151頁 ¥2900 + 税</p>	<p>ラザフォード・オールコック</p> <p>富士登山と熱海の硫黄温泉訪問</p> <p>A5判 163頁 ¥2200 + 税</p>	<p>ラザフォード・オールコック</p> <p>長崎から江戸へ</p> <p>A5判 153頁 ¥3000 + 税</p>
		
<p>山本秀峰編訳</p> <p>富士山に登った外国人</p> <p>A5判 248頁 ¥3400 + 税</p>	<p>ウォルター・ウェストン著</p> <p>宣教師ウェストンの見た日本</p> <p>A5判 232頁 ¥3200 + 税</p>	<p>G・H・von ラングスドルフ著</p> <p>ラングスドルフ日本紀行</p> <p>A5判 256頁 ¥3700 + 税</p>
		
<p>チャールズ・ワーグマン</p> <p>幕末維新素描紀行</p> <p>A5判 246頁 ¥3700 + 税</p>	<p>セオドア・ウォルロンド編</p> <p>エルギン卿中国日本使節日記</p> <p>A5判 246頁 ¥4500 + 税</p>	<p>シェラード・オズボーン著</p> <p>日本の断章</p> <p>A5判 174頁 ¥4500 + 税</p>

本書の概要

ペリー条約(日米和親条約)締結一年後の安政二(一八五五)年、アメリカ海軍北太平洋測量艦隊は、大西洋、インド洋、中国海域の航海を経て、日本近海を測量航海し、琉球、下田、箱館、蝦夷地に來航した。目的は合衆国のアジアへの商業圏拡大や捕鯨業の保護のための航路調査、海図作成だったが、五週間におよび日本各地の滞在のなかで、開国過渡期における日本との和親条約の実施状況の調査に及んだ。

那覇では、アメリカ人の出現に現地人が奮え、開港場の下田では、条約締結の報を受け、真つ先に來航したアメリカ人のパイオニア商人や、安政地震で遭難したロシア船ディアナ号の將兵たちと遭遇した。また開設されたバザールでは日本役人、通訳、商人との間で様々な事態が展開された。箱館においては米、英、露など各国船舶が集散する開港期の様相を目にし、蝦夷地では江戸幕府の直轄支配状況、またアイヌ民族との交流を経験した。

艦船ハンコック号に乗船した海軍少尉ハバーシヤムは、各地での冒険的な体験をそのまま脚色無しで伝えている。

マイ・ラスト・クルーズ

一八五五年アメリカ海軍北太平洋測量艦隊
日本航海・琉球・下田・箱館・蝦夷地滞在記

アレクサンダー・ハバーシヤム著 山本秀峰 編訳

露蘭堂